

# 地域密着型金融の取り組み

## I. 地域密着型金融の取り組み方針

当行は静岡県を基盤とする地域金融機関であり、地域密着型金融への取り組みは恒久的な課題と位置づけております。

令和2年4月よりスタートした第27次中期経営計画「ZENSHIN～架け橋を築く～」では、基本方針である「お客さま本位の追求」において「コンサルティング人員の拡充」「コンサルティング機能の高度化」「デジタル化の進展への対応」に向けて取り組んでまいります。また、「経営基盤の強化」では、「地域社会への貢献」として「清水銀行SDGs宣言の具現化」「地域活性化に資する金融サービスの展開」「『まち・ひと・しごと創生総合戦略』への参画」を進めてまいります。

お客さまのライフステージに合わせた経営ニーズを幅広く捉え、より強い信頼関係を築き、真に役立つ商品・サービスの提供を通じて、地方創生に積極的に取り組んでまいります。

### ■ 地方創生への取り組み

地方創生を推進する体制として「地方創生デスク」を設置するとともに、地区駐在執行役員と全営業店長を地方創生推進担当者として配置し、各地域の戦略策定会議等への積極的な参画を通じ、静岡県の地方創生に向け清水銀行グループが一体となって取り組んでまいります。

具体的には、静岡県の「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議」における、5圏域の「地域会議」のうち、東部、中部、志太榛原・中東遠、西部の4圏域の会議に頭取・各地区駐在執行役員が構成員として出席しております。令和2年3月現在、静岡県内13市と地方創生に係る連携協定等を締結し、10市町の総合戦略策定に向けた会議等に参加しております。

#### ● 市との連携協定等の締結

市名	連携内容
三島市	パートナーシップ協定
静岡市	包括連携協定
磐田市	包括連携協定
掛川市	包括連携協定
島田市	包括連携協定
藤枝市	包括連携協定
沼津市	パートナーシップ協定
伊東市	創業支援に係る相互協力合意
富士宮市	包括連携協定
富士市	包括連携協定
袋井市	包括連携協定
菊川市	包括連携協定
裾野市	パートナーシップ協定

#### ● 市町における総合戦略策定に向けた会議等への参画

市町名	会議体
函南町	地方版総合戦略策定に伴う産業振興・基盤整備PD会議
富士市	富士市まち・ひと・しごと創生懇話会
静岡市	静岡市創生会議(静岡県創生県民会議中部地域会議)
藤枝市	藤枝市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会
島田市	島田市まち・ひと・しごと創生金融機関会議
吉田町	吉田町まち・ひと・しごと創生地域金融機関懇話会
菊川市	菊川市地方版総合戦略金融機関懇話会
掛川市	掛川市地域プラットフォーム幹事会
磐田市	磐田市まち・ひと・しごと創生金融機関懇話会
袋井市	輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生金融機関支店長会議

#### ● 業務開発部の新設

令和2年4月6日、SBIグループとの業務提携内容を具体的に検討していく専担部署として業務開発部を新設いたしました。当行のお客さまや地域の皆さまにとってより質の高い金融サービスの提供や利便性の向上などお客さまファーストを実現するため、業務提携によるさまざまな施策の展開を通じて、地域経済の活性化に貢献してまいります。

#### ● 地方創生私募債(愛称:しずおかの未来)の取り扱い拡大

地方創生私募債(愛称:しずおかの未来)の取り扱いを通じて、地域子どもたちの成長を応援しています。地方創生私募債は、当行が私募債の発行企業から受け取る手数料の一部で書籍やスポーツ用品等の教育関連物品を購入し、発行企業の希望を参考に静岡県内の学校に寄贈するものです。

取り扱い開始から、多くの企業にご賛同いただき、令和2年6月末現在、累計発行件数160件、累計発行金額12,380百万円に拡大いたしました。

## II. 地域密着型金融への取り組み状況

### 1. 創業・新規事業を目指すお客さまへの支援

#### ●創業・新規事業支援

創業・新規事業に関わる事業計画の策定や公的助成制度・支援融資の活用について、積極的にサポートを行った結果、2019年度は224件の創業・新規事業支援を実施しました。

これまで、株式会社日本政策金融公庫の静岡県内3支店との「創業支援等に係る業務連携・協力に関する覚書」の締結や「しみず創業支援資金」の取り扱いにより、創業・新規事業者の支援を継続的に進めております。創業・新規事業支援は、地方創生における重要な取り組みであり、今後も一層加速させてまいります。

#### ●認定支援機関としての新事業計画策定支援

静岡県産業振興財団等の各団体と連携し、経営革新計画・新連携計画、経営力向上計画の策定をサポートしてまいりました。これら公的支援制度を通じて、当行は認定支援機関として計画策定から資金繰りまで幅広くサポートした結果、2019年度は136件の新事業の計画策定支援に取り組みました。

### 2. 成長段階における更なる飛躍が見込まれるお客さまへの支援

#### ●海外展開支援の強化

平成29年7月、タイ王国に初の海外拠点として「バンコク駐在員事務所」を開設しました。また、平成30年2月には、タイ王国最大手の民間商業銀行であるバンコック銀行と「ビジネス協力協定」を締結するなど、お客さまの海外展開を支援する体制の強化を図ってまいりました。

令和元年5月、タイに拠点を有する地方銀行19行と共催で、現地に進出されているお客さま向けに「タイ日系企業ビジネス交流会」を開催し、9月には地方銀行8行、株式会社日本政策金融公庫ならびにバンコック銀行と共催で、現地に進出されているお客さま向けに「タイ日系企業交流会」を開催しました。

また、令和2年1月には、株式会社日本政策金融公庫等が主催する「日タイビジネス商談会」に向けて、出展先の募集や事前のご希望に基づく商談をアレンジしました。

今後もお客さまの海外ビジネスに関するニーズに対して、バンコク駐在員事務所や外部との連携を通じて、さまざまな支援を展開してまいります。



タイ日系企業ビジネス交流会



タイ日系企業交流会



日タイビジネス商談会



### ●ビジネスマッチング

お客さまからのビジネスマッチングに関するご依頼や行員が営業活動により入手した情報などを行内情報システムに集約し、最適なビジネスマッチングのご提案ができるようコーディネータ力の向上に取り組んでおります。

これらの取り組みにより多くのビジネスマッチングが実現した結果、2019年度は1,931件が商談となりました。

### ●「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み状況

当行は、経営者保証に関するガイドラインの趣旨を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の一層の促進に取り組んでおります。

項 目	2019年度実績
新規に無担保で融資した件数(A)	2,029件
経営者保証の代替的な融資手法として、ABLを活用した件数(B)	2件
保証契約を変更した件数	1件
保証契約を解除した件数	305件
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	1件
新規融資件数(C)	10,590件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合[(A)+(B)]/(C)	19.18%

お客さまに多様な資金調達手段を提供するために、動産・債権譲渡担保(ABL)を活用した融資をご提案させていただきました。2020年3月末の動産・債権譲渡担保融資は331件、209億86百万円となりました。

## 3. 経営改善・事業再生・事業承継等における支援

### ●経営改善支援

経営改善計画策定支援や定期的なモニタリングの実施により、お客さまの経営課題解決に向けた提案・支援を行ってまいりました。また、経営改善計画策定などの行内研修を実施し、積極的に行員の経営支援ノウハウの共有や企業に対する目利き力の向上に取り組んでまいりました。

経営改善支援の取り組み状況(2020年3月31日現在)

	(単位:先)
2019年度期初のご融資先数(正常先除く) ①	4,181
うち経営改善支援取り組み先数(正常先除く) ②	238
うち経営改善計画策定先数(正常先除く) ③	228
うち2019年度中のランクアップ先数(正常先除く) ④	11

経営改善支援取り組み率 ②÷①	5.7%
経営改善計画策定率 ③÷②	95.8%
ランクアップ率 ④÷②	4.6%

注1:小数点第2位を四捨五入しております。

注2:ランクアップ先は2019年3月末の債務者区分が2020年3月末時点で上方遷移した先。

### ●外部機関との連携

経営改善・事業再生・事業承継等の支援については、外部機関との積極的な連携により、効果的かつスピーディな対応に努めてまいりました。

#### ・主な外部機関

「静岡県中小企業再生支援協議会」「静岡県経営改善支援センター」「しずおか中小企業支援ネットワーク」  
「未来事業」「静岡県事業引継ぎ支援センター」「日本M&Aセンター」「みらいコンサルティング」  
「静岡県中小企業診断士協会」「名南経営コンサルティング」「地域経済活性化支援機構(REVIC)」  
「藍澤証券」「トランビ」「バトンズ」

### ●事業承継・M&A支援

事業承継を検討されているお客さまに向けては、本部担当者と営業店が連携し、個別相談の実施や外部機関と連携したM&A等の支援策を提供することにより、お客さまをサポートしてまいりました。

## 4. 地域活性化に向けた取り組み

### ● 清水銀行SBIマネープラザ静岡の開設

令和2年3月2日、SBIマネープラザ株式会社と2店舗目の共同店舗として「清水銀行SBIマネープラザ静岡」を東静岡支店内に開設いたしました。対面によりお客さま一人ひとりのニーズに合うコンサルティングを実践するとともに多様化するニーズにお応えできる充実した商品ラインナップを取り揃えております。

地域のお客さまの資産形成に資するためお客さま本位の業務運営を実践し、引き続き、付加価値の高い金融サービスの提供やコンサルティング機能の高度化に努めてまいります。



清水銀行SBIマネープラザ静岡

### ● 「食と健康 機能性表示食品の商品開発」セミナーの開催

令和元年12月12日、静岡商工会議所新産業開発振興機構と「食と健康 機能性表示食品の商品開発」セミナーを共催しました。本セミナーでは各種機能性表示食品を購入して商品企画に取り組むことのメリットや機能性表示食品について理解を深める内容とし、情報交換や食材の展示も行われました。



「食と健康 機能性表示食品の商品開発」セミナー

## 5. SDGs及びCSRに向けた取り組み

### ● 静岡県立大学・静岡大学での講義

金融経済教育の一環として、静岡県立大学・静岡大学で講義を行っております。静岡県立大学では、学生時に社会における金融や経済に関する実践的な知識の習得を目的とした講義内容としており、昨年度は開講15年目で受講者は1,100人を超えました。

静岡大学では、「地方創生」をテーマとする講義を行い、静岡県の経済や企業・地域金融機関との関わりについてストーリーを持たせ、アクティブラーニングを取り入れた実践型の講義を行っております。引き続き、地域の将来を担う若手人材の育成に貢献する取り組みを続けてまいります。



静岡県立大学「地域金融論」

### ● 静岡市へSDGsに向けた取り組み事例を公表

SDGsの達成に貢献するため「清水銀行SDGs宣言」を公表しており、地域の持続的成長と社会的課題解決に取り組んでおります。

令和2年2月、静岡市へ当行のSDGsに向けた取り組み事例を公表し、「静岡市SDGs宣言証」を受領いたしました。なお、公表した取り組み事例については、静岡市のホームページに掲載されております。

今後も、第27次中期経営計画で掲げる地域社会への貢献に向けて、清水銀行SDGs宣言の具現化に向けた取り組みを進めてまいります。



SDGs宣言証

### ● 地域のスポーツ振興への貢献活動

令和元年12月7日、清水エスパルスのホーム最終戦(2019J1リーグサガン鳥栖戦)「清水銀行デー」がIAIスタジアム日本平で開催されました。当日は、清水銀行アプリをダウンロードいただいたお客さまを対象に抽選で選手のサイン色紙などをプレゼントいたしました。

また、入行内定者が大勢のサポーターとともにスタジアムでエスパルスを応援し、J1残留を決めた歓喜の瞬間を分かち合いました。

今後も、清水エスパルスのオフィシャルトップパートナーとして、地域のスポーツ振興に貢献してまいります。



清水銀行デー

## Ⅲ. 2019年度実績と2020年度数値目標

項目	2019年度			2020年度目標
	目標	実績	達成率	
創業・新規事業支援融資実行件数	200件	224件	112.0%	200件
ビジネスマッチング商談件数	1,800件	1,931件	107.3%	1,800件
海外進出支援相談受付件数	120件	84件	70.0%	120件
認定支援機関等外部専門家・外部機関との連携件数	50件	61件	122.0%	50件